

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 松涛会	代表者	理事長 斎藤 正樹	法人・事業所の特徴	法人は病院を中心として、地域の拠点となるべく、医療・介護・福祉が一体となり、多岐にわたり複数の施設を運営している。「地域の中でゆったりとその人らしくいきいきと楽しく自由にありのままに」を理念に利用者様の気持ちに引き合い寄り添いながら支援することを大切にご利用者にその人らしい自由で楽しい生活をしていただけるよう、介護を通して支え、地域に密着したサービスの向上を心がけております。
事業所名	小規模多機能くるみの家	管理者	金坂 明美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人		3人		1人	1人		4人		10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も改善計画を年間計画に組み込むことで、9項目の振り返りを行い全職員が相互に確認し合える時間を設け職員の問題意識を向上させていく。	自己評価を5グループに分け振り返りを行い全職員にて、相互に確認し合い各項目の内容や捉え方の視点が統一されてきており意識の向上が図れていた。	職員が定着していることで、良くやっていると感じた。今回をみると大体出来ていると思う。リスクマネジメントに加え安全管理を行うことで、セーフティーマネジメント体制を整えて行くことやフェースシートの情報をどのように活用していくのかが、今後の課題だということが良く分かりました。	それぞれの項目の問題点や課題を分析し問題解決のために現状把握を行い見直していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	管理体制の自主点検を継続し経年劣化による環境の悪化がないように施設内の環境面には十分配慮していく。	職員が自主点検に努め、改善が必要なことは法人へ改善提案を行う等、利用者が過ごしやすい環境を整備し清掃に努めた。	施設内の環境面に十分配慮されているので、今後も継続してください。	今後も施設内の設備・備品の点検を定期的に行い故障や不具合・汚れ等がないように維持し、年間を通し感染対策を行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	ボランティアの来訪による地域の方との交流を継続し地域包括支援センターと協働し地域と共にできることを考案できる様努めて行く。	地域資源の活用や地域活動への参加は定着してきている。地域包括支援センターへ協働を求め事業者内研修をおこなうことができた。	高齢者虐待の研修を行うことができたが、今後は地域支援包括支援センターとしても事業所と協働し住民の方々に参加して頂ける取り組みを行っていきたいと思っています。	地域包括支援センターと協働し地域の方への参加を呼びかけることで、事業所が交流の場となるよう、活動の幅を広げていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域の行事のみならず、地域の方や利用者・家族が参加しやすい取組み(イベント)を企画し参加頂けるよう情報を発信していき地域との繋がりを継続できるよう支援していく。	利用者・ご家族・民生委員・全職員の参加による大規模な外出支援を実施し地域交流・社会参加を図ることができた。	大規模な外出支援に参加させていただき、利用者の方が皆、同じ状態でないことで、移動や体調管理・食事の形態にまで対応しているのを見ると大変だと思った。皆さん楽しんでおられ地域の交流を図ることができたと思う。	地域交流の為の外出支援や事業所の季節の行事に地域の方の参加を得る事などにより、活動多彩化を図っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で頂戴した意見等は、適宜運営に反映させていき、守秘義務・個人情報保護の共通認識を再確認し、今後も事例検討は必要に応じて行っていく。	運営推進会議にて事例検討を重ねることで頂けたご意見を支援に反映させることができた。	自治体の独居高齢者の把握や消防団の活動報告ができ、事例検討も行われていて意見を話せる場となっている。	地域で暮らす利用者を支えて行けるよう、事業者や地域の情報を共有し会議で頂戴した意見を支援に反映させていく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の防災訓練・防災教育を継続することで、知識の習得・措置判断や行動能力の向上を図る。消防団との協力・連携も図れるよう取組み、地域の防災訓練への参加・災害チェックシートの毎月点検の継続に努める。	防災計画の振り返りを行い自主避難訓練に生かすことができ、年2回の避難訓練に加え、地震・津波等の避難訓練も実施することができた。地域の防災訓練にも参加し模擬体験を行うことができた。	運営推進会にて実施報告を受けている。防災訓練時に消防団としての関わり方を相談して頂ければ連携を図っていきます。	今後も年3回の避難訓練を継続する。訓練内容に長時間の停電や断水等の想定を加えていき防災訓練の振り返りを行うことで、避難訓練に行かせるよう、災害時の具体的マニュアルを作成する。